



## バリアフリー推進レポート

公共交通事故被害者等支援フォーラムを開催しました。

公共交通事故発生時における被害者等の支援のほか、平時における被害者支援の趣旨や必要性を広く周知するとともに、公共交通事業者の安全意識の啓発や被害者等支援計画の策定を促していくため、関係団体や事業者を対象とした「公共交通事故被害者等支援フォーラム」をオンライン開催しました。

### 開催概要

- 日時: 令和4年1月28日(金) 14:00~16:00
- 場所: 中国運輸局4階第三会議室(オンライン)
- 参加者: 17団体(30名)
- 内容:
  - ・開会挨拶 中国運輸局 交通政策部次長 茅原 裕則
  - ・講演「2.5人称の視点で事故に向き合うということ  
—JR福知山線事故の事例を通じて—」大阪大学 COデザインセンター 教授 八木 絵香
  - ・講演「事故で家族を失った家族の気持ち」  
(独法)自動車事故対策機構広島主管支所 援護員 中谷 玲子
  - ・情報提供「公共交通事故被害者等支援の現状について」  
中国運輸局 交通政策部 バリアフリー推進課 大谷 裕史
  - ・質疑応答

### 参加者からの感想

■まずは自社において、大規模な事故・被害者を出さないことが一番ではあるが、事故・被害者を出してしまったときに、「被害者等支援計画」を事前に策定していれば、速やかに対応できるであろうと思うと共に、万が一の際にも安心して利用いただける事業者との認識を持っていただけるのではないかと思います、今後の策定に向けて検討していきたいと思いました。

■初めての参加でしたが、大変参考になりました。加害は一瞬ですが、その被害は生涯にわたって被害者やそのご家族・ご遺族に苦しみ、悲しみとなって残ります。被害者等が笑顔になってもその笑顔の向こうには涙が存在します。色々な犯罪被害がある中で、特に公共交通の事故は絶対に防いでいかなければならないと思います。

■当初は会場参加を希望した申込でしたが、「まん延防止等重点措置」対応によりやむなくオンライン参加となりました。結果的にはオンラインの方が、参加者にとって移動時間や交通費の面からもメリットが大きかったです。

八木教授による講演の様子



中谷援護員による講演の様子

